



2020年度  
奨学金ガイド

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY



青山学院大学

# はじめに

## 青山学院大学の奨学金制度の目的

青山学院大学は有意義な学生生活を送ることができる環境を整えるため、さまざまな奨学金制度を設けています。奨学金は大きく次の二つの種類に分けることができます。

### 経済支援を目的とした奨学金

経済的理由により修学が困難な学生を支援するための奨学金です。

### 活動支援を目的とした奨学金

学業優秀者や、自己研鑽し学内外での有意義な諸活動を行う学生を支援するための奨学金です。

いずれの奨学金も出願資格や選考基準が規定されており、採用人数にも限りがあります。自分の生活状況や目的をきちんと把握し、よく考えて判断することが大切です。青山学院大学は、未来に向けて意欲的な学生をサポートします。

## 貸与奨学金と給付奨学金

### 貸与奨学金

在学中に借りた奨学金を、卒業後に返還するものです。無利子のものと有利子のものがあります。教育ローンなどと比較し、利率が低く返還条件も有利な制度となっています。ただし、返還を怠った場合には個人信用情報機関に個人情報が登録されることもあり、利用にあたっては貸与額などよくご家族と相談してから申請してください。

### 給付奨学金

貸与奨学金と違い、返還の必要がない奨学金です。そのため出願数が多く、貸与奨学金と比べて採用者数は少なくなっています。出願基準を満たしていても採用されない場合も多くありますので、安定した学生生活を送るために、貸与奨学金と併せて申請することをお勧めします。給付奨学金に採用されたのちに、貸与奨学金を辞退したり、貸与額を減らしたりすることも可能です。

# 青山学院大学の奨学金制度

## 経済的な理由で修学が困難な学生に対して

恒常的に経済困窮しており、  
修学が困難な学生を支援

貸与

- ① 日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)
- ② 青山学院万代奨学金
- ③ 地方公共団体の奨学金
- ④ 民間育英団体の奨学金

給付

- ① 日本学生支援機構奨学金(給付)
- ③ 地方公共団体の奨学金
- ④ 民間育英団体の奨学金
- (含 私費外国人留学生対象の奨学金)
- ⑤ 青山学院大学経済支援給付奨学金
- ⑥ 青山学院大学経済援助給付奨学金
- ⑦ 青山学院スカラーシップ奨学金(冠奨学金)

過去一年以内に  
緊急不測の事態が発生し、  
家計が急変したため、  
修学が困難な学生を支援

貸与

- ① 日本学生支援機構奨学金(緊急・応急採用)

給付

- ① 日本学生支援機構奨学金(給付)
- ⑤ 青山学院大学経済支援給付奨学金(緊急対応)

## 様々な活動に取り組む学生に対して

学業を支援  
(学業成績が優秀であった)

給付

- ④ 民間育英団体の奨学金
- (含 私費外国人留学生対象の奨学金)
- ⑦ 青山学院スカラーシップ奨学金(冠奨学金)
- ※ 青山学院大学学業成績優秀者表彰制度
- ⑩ 青山学院大学産学合同外国人留学生グローバル奨学金
- (私費外国人留学生対象の奨学金)

課外活動や  
ボランティア等を支援  
(活躍が顕著であった)

給付

- ④ 民間育英団体の奨学金
- (含 私費外国人留学生対象の奨学金)
- ⑦ 青山学院スカラーシップ奨学金(冠奨学金)

留学を支援

貸与

- ① 日本学生支援機構奨学金(第二種短期留学)

給付

- ① 日本学生支援機構奨学金(留学生受入れ促進プログラム)
- ① 日本学生支援機構奨学金(海外留学支援制度・協定派遣)
- ④ 民間育英団体の奨学金
- (含 私費外国人留学生対象の奨学金)
- ⑦ 青山学院スカラーシップ奨学金(冠奨学金)
- ⑧ 青山学院大学産学合同万代外国留学奨励奨学金
- ⑨ 青山学院国際交流奨学金

# 青山学院大学の奨学金一覧

採用実績: 2019.12.31現在

	奨学金の名称	奨学金制度の概要	貸与給付	金額	採用実績
経済 支援	①日本学生支援機構奨学金(第一種)	国の育英奨学金制度で、経済的理由により修学が困難な者に学費を貸与することによって、教育の機会均等を図ることを目的とします。無利子で貸与される「第一種」と、有利子で貸与される「第二種」があります。	貸与 (無利子)	学部 (月額) ※平成30年度以降入学者 自宅 2・3・4・5・4万円 より選択 自宅外 2・3・4・5・6・4万円 より選択 ※平成29年度以前の入学者については選択出来る月額が異なります。 (月額) 修士・博士前期課程 50,000円 専門職学位課程 もしくは 88,000円 (月額) 博士・博士後期課程 80,000円 もしくは 122,000円	455名
	①日本学生支援機構奨学金(第二種)	また、緊急不測の事態等により学費の支弁が困難となった場合にも申請できる緊急(第一種)・応急(第二種)採用の制度があります。	貸与 (有利子)	学部 (月額) 2~12万円 (1万円単位)より選択 大学院 (月額) 5・8・10・13・15万円 より選択	530名
	①日本学生支援機構奨学金(給付)※	国の「高等教育における修学支援新制度」のひとつとして、意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう設立された奨学金です。併せて、授業料の減免を受けることができます。	給付	学部 (月額) 自宅 第1区分 38,300円 第2区分 25,600円 第3区分 12,800円 自宅外 第1区分 75,800円 第2区分 50,600円 第3区分 25,300円	—
	②青山学院万代奨学金	校友である万代順四郎氏の寄付を中心に設けられた奨学金です。学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な者に、無利子で貸与されるものです。	貸与 (無利子)	大学院 学部 (月額) 61,000円 博士前期・後期課程 (月額) 85,000円 専門職学位課程 (月額) 85,000円 専門職学位課程 (月額) 100,000円 (法務研究科)	14名
	③地方公共団体の奨学金 ④民間英団体の奨学金 (含 私費外国人留学生対象の奨学金)	地方公共団体、民間企業、団体、個人、外国政府など、学外からも多数の奨学生募集があります。	貸与 給付	それぞれの奨学金によって異なります	76名
	⑤青山学院大学経済支援給付奨学金	成業が見込める者で、経済的理由により学費支弁が困難な学生に、奨学金を給付するものです。また、緊急不測の事態等により学費等の支弁が困難となった学生に対して、随時申請可能な制度もあります。	給付	年間学費相当額限度	111名
	⑥青山学院大学経済援助給付奨学金	学部4年次の学生のうち、学費等の支弁が困難となった学生に、奨学金を給付するものです。	給付	(年額)500,000円	9名
	⑦青山学院スカラーシップ(冠奨学金)	寄付者の名称を冠として設立された給付の奨学金制度です。詳細は別途掲載	給付	(年額)150,000円~2,000,000円	258名
	①日本学生支援機構奨学金 (留学生受入れ促進プログラム)	優秀な外国人留学生の戦略的な受入れを促進し、高等教育機関の国際化を資することを目的に、私費外国人留学生で、学業・人物ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難である者に対して給付するものです。詳細は国際センターへお問い合わせください。	給付	(月額)48,000円	41名
	活動 支援	①日本学生支援機構奨学金 (海外留学支援制度・協定派遣)	協定校留学者を対象に、留学に係る渡航に必要な経費の一部を奨学金として支援することにより、グローバル社会において活躍できる人材を育成するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的とするものです。詳細は国際センターへお問い合わせください。※年額によって本学への割当が無い場合があります。	給付	(月額)60,000円~100,000円を留学月数分 ※金額は留学地域による
⑧青山学院大学産学合同外国留學奨励奨学金		海外留学を志す本学学生を対象として、本学と株式会社太平エンジニアリングが合同で学業資金としての奨学金を給付することにより、経済的負担の軽減と外国留學の奨励を目的とするものです。詳細は国際センターにお問い合わせください。	給付	1)協定校留學奨励奨学金 500,000円 2)認定校留學奨励奨学金 500,000~1,000,000円 3)世界トップレベル大学奨励奨学金 1)2)に追加して500,000~1,000,000円 ※1)2)3)とも半期留學の場合は、半額給付	1)41名 2)4名 3)18名
⑨青山学院国際交流奨学金		海外留学を奨励し、国際化時代に対応できる有能な人材を育成することを目的とするものです。詳細は国際センターにお問い合わせください。	給付	(年額)200,000円	派遣 3名 受入 18名
⑩青山学院大学産学合同外国人留學生グローバル奨学金		将来、社会及び文化の発展向上に寄与する国際的人材の育成を目的に学業成績優秀者へ奨学金を給付するものです。詳細は国際センターへお問い合わせください。	給付	(年額)300,000円または500,000円 ※年度の予算を超過する場合にはひとりあたりの給付額を一律に減額して調整	299名

※①日本学生支援機構奨学金(給付)について、本学は2020年度から開始される国による「高等教育の修学支援新制度」の対象校となりました。

# 青山学院スカラシップ(冠奨学金)

2019年度実績

	奨学金名	学部・大学院	給付金額(万円)	募集人数(名)
1	薦田先端学術奨学金	大学院	435~52	若干名
2	翻訳屋奨学金	学部	50	1
3	HOPE奨学金	学部	40	3
4	グリーンベル奨学金	学部	40	5
5	みどりの種奨学金	学部	40	10
6	横山奨学金	学部	35	3
7	KS奨学金	学部	30	1
8	熊谷正寿夢手帳奨学金	学部・大学院	30	22
9	SD奨学金	学部	30	2
10	被災地連帯人材育成奨学金	学部	30	3
11	エバーグリーン奨学金	学部・大学院	15~30	若干名
12	青山学院校友会奨学金	学部・大学院	15~30	若干名
13	エバーグリーン奨学金(東日本大震災被災学生対象)	学部・大学院	15~30	若干名
14	経済学会学業資金奨学金	学部	30	2
15	青山オーナー会奨学金	学部	30	1
16	Shape our future奨学金	学部	30	10
17	清水建設奨学金	学部・大学院	30	16
18	本多記念奨学金	学部	30	1
19	エバー白井奨学金	学部	30	2
20	青山サクラソウ奨学金	学部	30	1
21	スクルージ奨学金	学部	30	3
22	Michiko奨学金	学部	30	2
23	坂奨学金	学部	25	2
24	向山泰子奨学金	学部	25	9
25	文学部奨学金	学部	25	2
26	柿沼奨学金	学部	25	1
27	みかづき会奨学金	学部	25	2
28	宮崎 輝・淑子奨学金	学部	25	2
29	福原奨学金	学部	25	2
30	フェニックス奨学金	学部	25	4
31	樫の木奨学金	学部	25	1
32	SIPEC2奨学金	学部	22	1
33	SIPEC3奨学金	学部	22	2
34	高崎奨学金	学部	20	1
35	寺村奨学金	学部	20	1

	奨学金名	学部・大学院	給付金額(万円)	募集人数(名)
36	青山学院校友会中央支部奨学金	学部	20	1
37	敬愛奨学金	学部	20	1
38	青山学院維持協力会奨学金	学部・大学院	20	43
39	林道子奨学金	大学院	20	2
40	青山学院校友会東北ブロック奨学金	学部	18	1
41	田中孝奨学金	学部	16	1
42	林道子奨学金	学部	15	2
43	不動産青山会奨学金	学部	15	1
44	青山学院大学経済学部同窓会奨学金	学部	15	2
45	ACG奨学金	学部	15	2
47	竹田治世奨学金	学部	15	1
48	エバーグリーン基金奨学金	学部・大学院	15	1
49	古坂奨学金	学部	15	1
50	泰憲典教授奨学金	学部・大学院	15	6
1	神山奨学金	大学院	200	1
2	深町奨学金	学部	150	2
3	ヒュー・ウィルキンソン奨学金	大学院	50	1
4	青山学院メソジスト奨学金	学部	50	2
5	経済学会海外留学支援奨学金	学部・大学院	30	4
6	チャペルコンサート奨学金	学部	30	1
7	みどりの奨学金	学部	30	2
8	青山学院校友会ロスアンジェルス支部奨学金	学部・大学院	20	2
9	青山さゆり会奨学金	学部・大学院	20	4
10	佐々木グローバル奨学金	学部	20	4
11	寺村眞佐子奨学金	学部	20	1
12	英米文学科同窓会奨学金	学部	20	1
13	ASANO SPORTS奨学金	学部	20	15
14	豊田奨学金	学部	15	1
15	青山学院大学宗教主任会奨学金	学部	15	2
16	ウェスレー奨学金	学部	15	1
17	宗教センター奨学金	学部	15	2
18	ソーパー奨学金	学部	15	1
19	宮島中世英語英文学奨学金	学部・大学院	15	1
20	理工学部創立50周年記念奨学金	大学院	8	8
21	薦田先端学術賞	大学院	2	8

経済支援

経済支援

活動支援

# 入学前予約

## 青山学院大学入学前予約型給付奨学金「地の塩、世の光奨学金」

一般入学試験または大学入試センター試験利用入学試験により入学する首都圏（1都3県）以外の出身者で、家計基準を満たした者に対し、入学前に願書を受け付け、入学後所定の手続きを行うことで、奨学金を給付しています。

給付金額：年額50万円

給付期間：原則4年間の継続給付（\*毎年継続審査あり）

採用候補者数：約350名（予定）

\*資格や基準等詳細は、奨学金担当窓口までお問い合わせください。

## 成績優秀者に対する学業奨励

### 青山学院大学学業成績優秀者表彰

社会及び文化の発展向上に寄与する人材の育成に資することを目的とし、本学に在籍する2年生以上の学生で、在籍する年次の前年度において学業成績が優秀と認められる者に対して表彰し、賞状及び副賞として学資金を授与しています。

副賞：最優秀賞（学部・大学院）	20万円
優秀賞（学部）	10万円
奨励賞（学部）	5万円

## その他の奨学金

財団法人・公益法人・民間企業・都道府県や市区町村自治体など、多くの奨学団体が奨学生を募集しています。募集対象となる学部・研究科・学年・申請資格は、奨学団体によって異なりますが、採用が決定するとほとんどの団体が卒業までの期間、継続して支援していただきます。

### I. 地方公共団体の奨学金

都道府県・市区町村が行う奨学金で、主に貸与（無利子）の奨学金です。大学を通じて募集する以外に、都道府県・市区町村で直接募集するものも多いので、出身高校の所在地や保護者が居住している地域の教育委員会等にお問い合わせください。

### II. 民間育英団体の奨学金

財団法人・公益法人・民間企業などが行う奨学金です。例年、本学に対しても多数の団体から推薦依頼をいただいております。民間団体の奨学金のほとんどが給付型奨学金です。日本人学生だけではなく、私費外国人留学生を対象とした奨学金も多数あります。

# スケジュール

★ 奨学生募集説明会（学生ポータルによる募集あり）・書類提出・面接 ■ 推薦候補者発表 ● 奨学金初回振込

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①日本学生支援機構奨学金 （第一種・第二種、給付）	★		■	●								
②青山学院万代奨学金	★		■	●								
③地方公共団体の奨学金	★		■	●								
④民間育英団体の奨学金	★		■	●								
⑤青山学院大学経済支援給付奨学金												
⑥青山学院大学経済援助給付奨学金	★		■	●			★		■	●		
⑦青山学院スカラシップ（冠奨学金）												
青山学院大学学業成績優秀者表彰制度												

①日本学生支援機構奨学金（留学生受入れ促進プログラム）、(海外留学支援制度・協定派遣)、⑧青山学院大学産学合同万代外国留学奨励奨学金、  
⑨青山学院国際交流奨学金、⑩青山学院大学産学合同外国人留学生グローバル奨学金については、国際センターに問い合わせてください。  
※在籍中の過去1年以内に緊急不測の事態が生じ、学費支弁が困難となった場合には、奨学金窓口にご相談ください。

## よくある質問

### Q. 大学で奨学金を受けたいと思っていますが、いつ手続をすればよいのですか？

A. 各種奨学金の申込については上記スケジュールをご確認ください。奨学金の種類によって募集時期が異なりますのでご注意ください。まずは3月下旬～4月上旬に貸与及び給付奨学金の募集説明会があります。

### Q. 評定平均値が低いのですが、奨学金は受けられますか？

親の収入が高いのですが、奨学金は受けられますか？

A. 奨学金には経済支援を目的としたものや、成績優秀者を対象としたものなどいろいろな種類があります。成績が低いから、収入が高いから、どの奨学金も資格がないということではありません。

### Q. 奨学金を2つ受けること（併用）はできるのですか？

A. 原則、貸与奨学金と給付奨学金の併用は可能です。ただし、奨学金の種類によってはできないものもありますので、詳しくは窓口までお問い合わせください。なお、貸与奨学金を併用すると、卒業後の返還額が多くなり、負担になりますのでよく考えて申請してください。

### Q. 奨学金は申し込みれば必ず受けられますか？

A. 奨学金の採用は、それぞれの奨学金制度の条件に従い、家計状況及び成績等を数値化して選考されます。それぞれの奨学金には採用枠があり、出願条件に合致しているからといって、必ず採用されるわけではありません。特に給付奨学金は貸与奨学金に比べて採用率が低くなっています。

### Q. 大学で借りた奨学金はいつ返せばいいのですか？

A. 貸与奨学金は卒業後に返還することになります。貸与の総額にもよりますが、卒業後最長で20年間、返還していくこととなります。大学卒業後に大学院へ進学、資格試験の準備等によりすぐに返還することができない場合は、返還の猶予を願い出ることでもできます。

## 奨学生の声

私が小学4年生の時に東日本大震災が発生し、家が半壊するという被害に遭いました。その後、復興が進んでも福島県の放射線問題で県に来る人は半減し、旅館を営む私の家庭にとって、景気は回復せず経済面でも大きな被害となりました。今回、奨学金を受けることができたので、勉学に励み、少しでも地元に貢献できるように頑張っていきたいと思えます。

(文学部1年女子)

奨学金に採用されたことで沢山の方の支えがあり、大学生活が成り立っていることを日々実感しています。私は将来、国内外の教育格差と向き合う人になりたく、地球社会共生学部で学んでいます。自分がしたい教育支援を行うだけでなく、この奨学金をご寄付してくださった方のように、自分に何が求められているのかという視点を大事にしたいと思えます。社会問題となっている教育格差を少しでも改善していけるように今後も一層の努力をし、どんな場所でも輝ける人になりたいと考えています。

(地球社会共生学部3年女子)

私が高校生の時に両親が離婚しました。当時、私は大学受験のために勉強に専念していたため多くのことを把握することはできませんでしたが、少なくとも理解できたのは経済面の問題でした。今までパートとして働いていた母が常勤として働くようになったのは、家族の生活費や自分や兄弟の学費のためだったと思います。大学に入学し、奨学金をいただくことができ、少しでも母の負担を減らすことができて大変嬉しく思います。奨学金をいただいたことにより、これから勉強により一層力を入れて頑張ろうと思いました。

(理工学部1年男子)

私が大学1年の時に父が大病を患い、一時は全く仕事もできなくなりました。自営業のため経済的にかなり厳しい状況になり、貸与型奨学金だけでは足りず、アルバイト漬けになる時期もあり、学業と両立させるのは難しいこともありました。そのような中で、奨学金を受給できたことは私にとって、社会に対する明るい希望であり、それが励みにもなりました。春から社会人になりますが経済的事情で夢を諦めるしかない学生が少しでも減るように、手助けできる社会人になりたいと思えます。

(法学部4年男子)

### 奨学金窓口

#### 青山キャンパス

学費・奨学金課(17号館2階チューデントセンター)  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-7945

#### 相模原キャンパス

学生生活課(B棟1階チューデントセンター)  
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1 Tel.042-759-6004

※所属キャンパスの窓口にお問い合わせください。

青山学院スクール・モットー

## 地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(聖書 マタイによる福音書 5章13~16節)